

多高通信

第184号 令和3年1月28日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

語学研究部

外国人技能実習生 交流活動

災害時の食事について説明しました！

11月8日、宮城県国際化協会の主催で行われた「地域で広げる多文化共生の輪」に参加し、ミャンマー出身で多賀城市大代地区に暮らす技能実習生に、災害時の食事について説明をしました。これは、地域住民との交流を重ね、技能実習生を交えた多文化共生の地域づくりを進めることを目的とし実施されたものです。語学研究部では、ミャンマー語での自己紹介の後、「備蓄食品とローリングストック」「ビニール袋や空き缶を使った米の炊き方」「ビニール袋を使った蒸しパン」「お湯を使わないインスタントラーメン」「ハッシュドフィッシュ」等を、自分たちで調理した動画を用いて説明をしました。

■2年2組 金森 優花

(富沢中出身)

学校の授業で学んでいる「くらしと安全」で得た知識をもとに、災害時の食べ物について、多賀城市内で働いているミャンマー人の方へ発表しました。今回、新型コロナウィルスの影響でミャンマー人の方々と一緒に調理することはできませんでしたが、災害時に調理器具の代用品として使用できるものや、実際に調理している様子などを、事前に動画として作成し紹介することができました。



今回の研修を通し、新型コロナウィルスの影響で発表の制限が多い中、部員全員で協力し、どのようにしたら聞き手のミャンマー人の方々に発表をわかりやすく伝えることができるか意見を出し合うことができ、良い発表ができました。同時に、より多くの方々に防災の知識を

伝えるためにも、この発表を英語などの他の言語に翻訳し積極的に発信していきたいと思いました

語学研究部

日本災害DIGITALアーカイブ

1記事を投稿しました

語学研究部では、ハーバード大学ライシャワー日本研究所と連携協力している「日本災害DIGITALアーカイブプロジェクト(JDA)」において、多賀城高校の防災・減災活動について日本語と英語で記事を作成し掲載しました。

■2年3組 鈴木 柚花(田子中出身)



DIGITAL アーカイブのトップページ

今回、JDAの記事作成に参加し、防災学習についてさらに関心が高まりました。語学研究部の部員で記事内容を7つのテーマに分け、1グループ2〜3人で作成しながら、防災について改めて学ぶことができました。多賀城高校には実際に東日本大震災で利用されたことのある仮設住宅1棟が移設されており、震災時に自宅から離れざるを得なかった方々の苦労や、震災を風化させたくないという地域の方々の思いを直接感じて感ずることが出来ます。仮設住宅を見てもらうことで、災害の恐ろしさや復興への強い思いを伝えていくことができると、記事作成を通して学びました。

部員全員がそれぞれのテーマについて深く考え、調べ、防災学習への関心が高まることのできたと思います。今後も、多賀城高校の防災活動に積極的に参加し、復興に貢献していきたいです。

科学部 環境活動の発表で

受賞しました！

本校科学部マツ班が日頃研究している松枯れの研究を環境活動の視点で捉え直してレポートにまとめ、「第6回全国ユース環境活動発表大会」の東北地方大会において優秀賞を、「第20回環境甲子園」において特別奨励賞を、それぞれ受賞しました。

第6回全国ユース環境活動発表大会は、環境活動を実践する高校生が一堂に会し、創造力を働か

せて行う自らの環境活動を発表し、相互研鑽を行うもので、一次審査を通過したあとに動画を作成しWebに投稿するという形態で行われました。地方大会進出校は、予選を通過したすべての団体の動画を見て審査に加わるという趣向であり、他校の活動内容や動画作成の技術を見ることで、生徒は大いに影響を受けました。

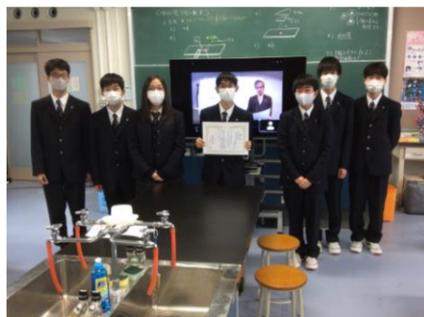
また、環境甲子園は、環境共生・持続可能な社会(SDGs)の実現を目指し、エネルギー問題(省・創・蓄)やゴミ問題など様々なテーマで取り組んでいる調査や研究、普及活動などの成果をとりまとめ、発表することで、科学的思考力や課題発見力、課題解決力、プレゼンテーション能力の向上を図るもので、校内における松枯れの原因やアカマツの樹勢の衰えを誘引する環境条件を検討し、4年間の研究をレポートにまとめ、受賞することができました。オンラインによる表彰式では、自分たちの研究を他県の生徒に伝えることができたほか、他校の取組について情報交換をする場が設けられ、今後の活動にもつながるものとなりました。

■1年3組 三橋 倭士(岩切中出身)

他校の環境への取り組みを見て、自分たちには無い発想や考え方を学ぶことができました。特に印象に残っている発表は、地中熱を利用した融雪についての活動報告です。地中熱は地熱と比べて陸上のほとんどの地域で利用でき、二酸化炭素の排出量が少ないという点に大変驚きました。動画を撮る方法も参考になる点がたくさんありました。今回他校の発表から学んだ点を私達の今後の活動に活かし、より良い研究ができるように努力したいと思います。

■2年5組 志田昌也(高崎中出身)

今大会はレポート形式で審査されることから、データをいかに簡潔にまとめるかという点に集中しました。こ



吹奏楽部

アンサンブルコンテスト

宮城県大会 報告

■2年1組 下川奈々美(松島中出身)

吹奏楽部は1月10日に仙台銀行ホール(イズミティ21)で行われた全日本アンサンブルコンテスト宮城県大会に出場しました。

今回は、木管三重奏・木管八重奏・金管八重奏の3団体が多賀城地区の代表として県大会に出場し、木管三重奏・金管八重奏が金賞、木管八重奏が銀賞を受賞することができました。感染予防のため直前の練習ができないこともありましたが、各団体がそれぞれの想いを形にし、音楽の素晴らしさや表現する喜びを聴きに来てくださった方々に披露することができたと感じています。惜しくも東北大会出場とはなりませんでしたが、多賀城高校吹奏楽部らしい演奏を皆さんに聴いていただくことが出来たことを心から嬉しく思います。また、結果に繋がったのには、たくさんの方々の応援があったからです。

平山先生をはじめとした顧問の先生方、いつも応援していただいている地域の方々や保護者の方々、そして私たちの練習のために場所を提供していただいた先生方や生徒の皆さん本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。今後とも、皆さんの期待に応えられるよう頑張っていきますので、吹奏楽部の活動を温かく見守って頂けると幸いです。

